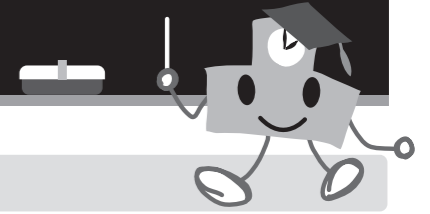


小学校の事例 手稲区 前田北小学校

# イベントのコーナーづくりに身近な素材を再利用。 「あるものを工夫して使う」ことを学ぶ。

迷路の壁はダンボール。ポーリングのピンはペットボトル。遊びや交流が目的のイベントも、少しの工夫で環境保護活動に。今あるものを大切に、リサイクル意識を高める取組。



## 内容 牛乳パックやペットボトルで店づくり

本校では毎年11月、生活科の時間を活用した1～2年生の交流をかねたイベント時に、環境への配慮を意識した取組を行っている。

イベントは10月に行われているPTAのバザーを手本にしており、迷路、ポーリングなどのゲームコーナーやお化け屋敷などの出店がある。このときのコーナーや店づくりには、ダンボールや牛乳パック、ペットボトルとキャップなどを使っているが、リサイクルやごみの減量を意識させるようにしている。

イベント自体は2年生がお店の人、1年生がお客さんとして参加するかたちで実施している。準備、後片付けも生活科の学習として行われ、作ったものは資源

ごみとしてリサイクルしている。

また、本校では昨年、リングプルの収集に取り組んでいる。3年生が総合的な学習の時間の中で、リングプルと車いすを交換できると知り、学年での活動としてスタートさせた。現在は収集箱を置いて回収しているが、集まったリング

プルの取り扱いについては検討中である。



店づくりの様子

## 今後 環境を考え、今あるものを利用する

本校では「新しいものではなく、あるものを使う」という意識が学校全体に根付いている。日頃から回収箱を置いて画用紙の切れ端を集めて使うなどしているが、イベント時にも、工夫と努力で「今あるものから、新しいものをつくる」ことを実践している。イベントの目的は「遊びをとおして交流をはかる」というものだが、こういった機会を利用して環境に配慮した行動についても学ぶことができると考えている。

川、森、公園、人材と、環境学習の素材は学校の周囲にたくさんあるが、教科とどのように結びつけて学習していくのが今後の課題となっている。



リサイクル用紙入れ

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪

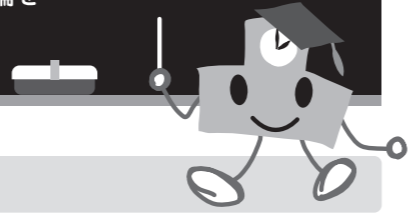
実施校から  
メッセージ

環境学習は非常に幅広いので、各学校、各先生によっていろいろな取組があり、その分おもしろい面もたくさんあります。現在エコが強く叫ばれていますが、エコとされる取組のよい面ばかりでなく、デメリット等も見つめて多面的に学習していく必要があると思います。

小学校の事例 西区 二十四軒小学校

# 積極的に再利用！ フレンドリーフェスタ24。

イベントの準備からごみが少なくなるよう環境に配慮した取組を実施。高学年から低学年、さらに幼児や園児へと活動の輪を広げるとともに地域への取組に発展を。



## 内容 再利用を心がけたイベント準備

本校では、10年以上前から「フレンドリーフェスタ24」という児童まつりを行っている。平成22年度は11月下旬に1～3校時を使い、開催した。

ペットボトルを使用したボウリングや段ボールのストラックアウトなどのゲームを作り、新しい紙は使わないことを心がけた。松かさやドングリなどを利用した工作コーナーもあり、準備段階から、学習発表会で使ったものを活用するなど、自然な形で再利用に取り組んでいる。終了後にごみが大量に出ないように工夫し実施することで、年々ごみの量も減り、片づけも素早く行えるように改善されてきた。

3～6年生の児童が学級活動及び児童活動の時間や休み時間を利用して準備を行い、1、2年生はお客さんとして参加。近隣の幼稚園2園、保育園3園の年長

の子どもを招待している。これを参考に1、2年生が同じく環境に配慮した「ミニフレンドリーフェスタ」を開催し、ポーリングや宝探しコーナーを作り、近隣の幼稚園2園、保育園3園の年長の子どもを招待している。



松かさを利用した工作

## 今後 イベントを通じ地域で環境意識を

イベントにより、幼稚園・保育園や地域の方々との繋がりができてきた。学習発表会にも来てもらうなど、交流が盛んになっている。これからはイベントを通じて地域で環境について考える取組を行っていかれたらよいと思う。

子供たちはイベントをととても楽しみにしているが、準備にかけられる時間や材料が限ら

れており、取組をよりよいものにするために、どう折り合いをつけ、工夫していくかが課題である。



牛乳パックを利用した工作

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪

実施校から  
メッセージ

各教科の学習の中で取り上げる題材を環境に結びつけて考え、幅広い知識・視野を身に付けるとともに、実際に自分たちの身近な暮らしの中で（清掃活動やフレンドリーフェスタ24などをとおして）取組んでいくことが大切だと考えています。子供たちを指導する立場として、教員も正しい知識や新しい情報を取り入れていかなければならないと感じています。